

日本損害保険協会では、交通事故を防止し、社会的な損失を低減させるために、自治体・各地の警察等とも連携し様々な活動を展開しております。2016年度は、「高齢者交通事故」の防止に焦点をあて、事故データの分析・研究を進めるとともに、地域における啓発活動を積極的に行っております。また交通事故の20%近くを占める自転車事故の防止のため、自転車シミュレータの寄贈等、様々な取組みを行っています。

## 高齢者交通事故防止の取組み

### 【2016年度の地域活動】

・全国59ヶ所で 延べ約34,000名の高齢者を対象に、交通安全講習や戸別訪問を通じて直接啓発。

#### ■高齢者事故防止啓発チラシ

運転時・歩行時の事故パターンと予防策をまとめ交通安全講習や戸別訪問などで活用  
(2017年2月現在約176万部配付)



園児による祖父母等への反射材貼付の様子

#### ■反射材

薄暮～夜間の歩行中事故防止のため装着働きかけ

反射材付きチラシ(香川県)

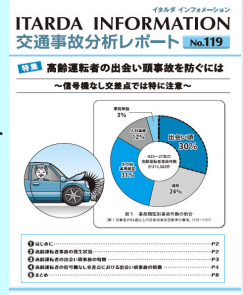


### 【交通事故データの分析研究】

・(公財)交通事故総合分析センター(ITARDA)と連携して、交通事故データの分析研究を実施。

・2016年12月に、高齢運転者に特有な事故の特性や要因をまとめた報告書を公表。

・本分析研究の結果を活用し、非高齢運転者と比べて割合が高い「出会い頭事故」の防止等にポイントを絞って事故防止活動の更なる展開を実施する。



### 【今後の展開】

2017年度から、損保のOB・OGが啓発活動に参画する「損保あんしん・あんぜんアドバイザー(SAAアドバイザー)」制度を立ち上げ、SAAアドバイザーによる交通安全・防災・防犯等の安全意識向上を推進予定。

## 自転車シミュレータ寄贈

- ・自賠責運用益拠出事業の一環として、2014年度から、自転車乗用時のルールや危険予測を学習する自転車シミュレータを各都道府県の交通安全協会に寄贈。
- ・2017年1月本寄贈を含む当協会の交通安全事業が高く評価され、全日本交通安全協会から感謝状を受贈。



自転車シミュレータ

#### 【過去の寄贈実績】

2014～2016年度の3年間で  
全国に計47台を寄贈

#### 【効果】

体験型交通安全教室等の各種イベントで広く活用し、自転車事故防止の意識啓発を推進

#### 【次年度の計画】

2017年度も、特にニーズの高い都道府県を中心に計10台を寄贈予定



全日本交通安全協会から感謝状を受贈

## その他の活動

### 【飲酒運転防止啓発】

- ・飲酒運転防止の社員教育や研修を行う際の手引きとして、「飲酒運転防止マニュアル」を作成し配布(累計発行約95万部)。
- ・九州支部では福岡県、県警と連携し飲酒運転根絶うちわ2,500枚を作成し街頭啓発活動実施。沖縄支部では県警と協力し飲酒運転根絶チラシ10万枚を作成し配布。



### 【交差点交通事故防止啓発】

- ・全国47都道府県の人身事故発生件数ワースト5の交差点を当協会HPに掲載。
- ・各地で交差点交通事故防止啓発チラシを市民に配布(2016年度14府県計60万部)。

